



Press Release

2023年11月17日

報道関係者各位

会社名 第一三共株式会社
代表者 代表取締役社長 奥澤 宏幸
(コード番号 4568 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 朝倉 健太郎
TEL 03-6225-1126

オミクロン株XBB.1.5対応COVID-19ワクチン(DS-5670)の 厚生労働省との供給に関する合意について

第一三共株式会社(本社:東京都中央区、以下「当社」)は、当社と厚生労働省との間で、2023年秋開始接種に使用するオミクロン株XBB.1.5対応の新型コロナウイルス感染症(以下「COVID-19」)1価mRNAワクチン(DS-5670、以下「本剤」)を供給することに合意しましたので、お知らせいたします。

今回の合意の内容は、厚生労働省による本剤の薬事承認を条件としており、2023年度中に140万回分を供給するものです。本剤については、2023年9月に日本において製造販売承認事項一部変更承認申請を行っております。

当社は、国産初のCOVID-19 mRNAワクチンである本剤を年内に供給するため、生産準備を進めるとともに、ワクチン開発・生産技術のさらなる強化に取り組み、社会の安心・安全及び人々の健康に貢献してまいります。

以上

DS-5670について

DS-5670は、当社が見出した新規核酸送達技術を活用し、新型コロナウイルススパイク蛋白質の受容体結合領域(RBD)を標的としたCOVID-19に対するmRNAワクチンです。日本において「SARS-CoV-2による感染症の予防」の適応で追加免疫を対象に起源株1価ワクチンとして2023年8月に製造販売承認を取得しました。

また、DS-5670の研究開発および生産体制整備は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「ワクチン開発推進事業」及び厚生労働省の「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の支援を受けて実施しております。

当社のワクチン事業

当社は、ワクチンを安定的に供給するとともに、強みであるサイエンス&テクノロジーを活かし、mRNA技術を活用したCOVID-19ワクチンなどを通じて、日本の予防医療を取り巻く環境の充実と新たなワクチンの創出に向けて研究開発を推進しています。また、新興・再興感染症の発生時に国産ワクチンを迅速に提供できるよう、mRNAワクチンの生産供給体制を速やかに確立することで、社会の安心・安全および人々の健康に貢献してまいります。